

第三者評価結果報告書

総 括	
対象事業所名	アスク新杉田駅前保育園
経営主体(法人等)	株式会社 日本保育サービス
対象サービス	認可保育所
事業所住所等	〒235-0032 神奈川県横浜市磯子区新杉田町8番8号 HAMA-SHIP2階
設立年月日	平成27年4月1日
評価実施期間	平成27年6月 ～28年5月
公表年月	平成28年8月
評価機関名	ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部
評価項目	横浜市版
総合評価（事業所の特色や努力、工夫していること、事業者が課題と考えていること等）	
【施設の立地・特徴】 1. 立地および施設の概要 園は根岸線新杉田駅から徒歩1分のところに位置し、住商一体型複合ビルの2階に平成27年4月に開園され、定員60名で現在38名が在籍し、201平方メートルの園庭があります。近隣に電車の線路や高速道路、商業施設、マンションがあり、杉田公園、臨海緑地が近くにあります。 2. 多彩なプログラムの提供 設置法人から派遣される専任講師によるリトミック、体操教室、英語教室が毎週あり、体を使ったり歌を歌って、リズム感や運動能力を養い、外国文化に触れたりしています。食農活動としてクッキング保育やプランターでの野菜栽培を行っています。 【特に優れていると思われる点】 1. 様々な体験を通した豊かな園生活の提供 園庭でボール蹴り、フラフープ、縄跳びなどを楽しみ、散歩先の公園で鬼ごっこをしたり、リレーやサッカーなどルールのある遊びを楽しんでいます。開園当初2か所しかなかった散歩先の公園を保護者にも協力を呼びかけて探し、6か所に増やしました。公園では木々の葉の色の変化を知り、ドングリを拾うなど自然に親しんでいます。また、10月の流星群や、社会体験で見学した海洋研究開発機構横浜研究所（金沢区昭和町）をとおして宇宙や海に関心を持ち続け、関連した絵本をよく見えています。小学校で開催した移動動物園に出かけて生きた動物を知り、近くの駅に行って電車を眺めたり消防署を見学しました。これらの様々な体験を通して子どもたちは園生活を送っています。保護者アンケートで「あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるか」について「満足、やや満足」が97%を占めています。 2. 一人一人を丁寧に観察した指導計画 0～2歳児について、職員は子ども一人一人の心や育ち、友達や職員との関わりを丁寧に観察して、個別月間指導計画を作成し、そのねらいに対する月間保育結果を評価・反省欄に具体的に記述しています。その結果として常に子どもの発達に応じて課題を捉え次期計画につなげ、子ども一人一人の育ちを支えています。一人一人のねらいや指導内容の設定、子どもを見るときの観点や評価・反省の書き方などについて、園長が職員の相談にのいていないに応じ、保育所保育指針に基づくように指導しています。	

【特に改善や工夫などを期待したい点】（丸ゴシックに修正しました）

1. おもちゃの拡充を

おもちゃや絵本が用意され、子どもたちが自ら選び取り出しやすいように様々な工夫がされています。種類や手作りおもちゃを拡充し、子どもたちが好きなおもちゃを選んで遊び込めるように、発達に応じたおもちゃの整備が期待されます。

2. 地域の子育て支援ニーズの把握とサービス提供

地域住民との交流などを通じて地域の子育て支援ニーズを把握し、園の専門性を活かしたサービスを提供することが期待されます。

3. 自己評価結果の公表

毎年自己評価を行うことにより、園としての課題を明確にし、今後の取り組みについて園内掲示や園だよりに掲載するなど工夫して公表することが期待されます。

評価領域ごとの特記事項

1.人権の尊重	・子どもへの言葉遣いや対応について日々の保育で園長、主任が個別に職員に指導しています。職員は子どもの気持ちを大事にし、丁寧に対応しています。 ・空いている保育室や保育室内の小さな空間があり、ほかの友だちの視線を気にせず過ごせるスペースがあります。 ・個人情報保護マニュアルがあり、守秘義務や個人情報を含む書類の取り扱い方法などについて周知徹底を図り、職員は入社時に守秘義務に関する誓約書を提出しています。 ・園で使用する持ち物は男女共通で、遊びや生活発表会などの行事でも性別による差別はしていません。
2.意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供	・保育課程は、年齢ごとの発達過程に応じて、理念・方針・園目標に沿うように子どもの最善の利益を最優先して作成しています。 ・年間指導計画、月間指導計画、週案を作成し、子どもたちの様子から汲み取った意思、意見を大切に子どもの主体性を育てるようにしています。 ・0～2歳児については、月間指導計画に基づいた個別指導計画を一人一人の発達に合わせて個人別に全員作成しています。 ・子どもがおもちゃや絵本、教材を自分で選んで取り出せるように低い棚に収納し、年齢や発達にふさわしいおもちゃや絵本を用意してあります。 ・子どもの自由な発想を大切に、散歩では右側通行や信号を守ることを覚え、公園や園庭でルールのある遊びをして社会性を培うようにしています。 ・ほうれん草など野菜を育て、かぶと虫をクラスで育てています。日常の散歩で地域の公園に行き、どんぐりを拾うなど季節の変化を感じています。 ・幼児のけんかでは子ども同士で解決するように見守り、双方の子どもの気持ちを

	代弁し仲直りさせています。 ・荒天時以外の日は、毎日散歩などの屋外活動を取り入れて健康、体力増進に努めています。 ・授乳は子ども一人一人に合わせて抱っこして与え、また、食事は子どもの食べる量を調節し完食の喜びを感じるようにしています。 ・旬の食材を使い食欲を増すように工夫しています。食器は強化磁器を使用し、年齢に応じた食具を使っています。 ・玄関にその日のメニューと提供した給食、おやつサンプルを展示し、保育参観の際に保護者に給食を試食してもらっています。 ・午睡時は保育室の明かりを消し、0歳児は5分おき、1歳児は10分おき、2歳児は15分おきに呼吸チェックをして記録し、幼児は30分おきに異常有無を確認しています。 ・子ども一人一人の排泄のリズムに合わせてトイレ誘導をしています。トイレトレーニングは、1歳児ころから一人一人の発達状況によって進めています。 ・保育の基本方針については、入園説明会や保護者会で説明しています。 ・0～2歳児については保護者との連絡帳があり家庭での様子、園での様子を記入して情報を共有しています。 ・個別面談は2週間の期間を設け、保護者の都合を優先して行っています。 ・毎月、園から「クラスだより」を発行し配付しています。行事の様子などの写真はネット販売にて保護者に販売しています。 ・保護者には、年度初めに、年間行事予定表を配布し、予定を立てやすいように知らせています。 ・保育参観の参加週間を1週間設けています。
3.サービスマネジメントシステムの確立	・児童票に、入園後の子どもの発達記録を0～2歳児は毎月、3歳児以上は3か月ごとに記録しています。 ・園内はバリアフリーでトイレに手すりを設置しています。 ・虐待対応マニュアルがあり、日々子どもの観察を通して異常がないかチェックをし、早期発見に努めています。 ・入園前の面接時に保護者からアレルギーについて聞き、主治医の生活管理指導表を提出してもらい、適切な除去食を提供できるようにしています。 ・食物アレルギーのある子どもへの給食提供時はトレイの色を変え、ラップをかけて名前と除去内容を明記し、複数の職員が確認しています。

	・外国籍の親を持つ子どもの入園時には、保護者から慣習の違いなど配慮すべきことを確認して対応しています。 ・苦情・要望の受付担当者は園長、解決責任者は社長とし、第三者委員の氏名・連絡先と共に玄関に掲示して保護者に周知しています。 ・健康管理マニュアルが整備されており、入園時に保護者に「健康調査票」を記入してもらっています。 ・健康診断は年2回、歯科健診は年1回行い、子ども一人一人の健康診断・歯科健診の結果は「個人健康記録票」に記録し保管しています。 ・感染症等への対応マニュアルがあり、登園停止基準や保育中に感染症の疑いが生じた場合の対応が明記されています。保育中に発症した場合は、速やかに保護者に連絡し、迎えを依頼し、ほかの子どもに感染しないように医務室で安静を保つようにしています。 ・安全管理マニュアルが整備されており、自園としての安全チェック表があり、系列の他園職員が安全チェックを行っています。 ・緊急連絡体制は、緊急連絡網があり、避難訓練と通報訓練を月1回定期的に実施しています。 ・玄関はオートロック式になっていて、来訪者をモニターで確認してから解錠し、不審者侵入を防止しています。
4.地域との交流・連携	・幼保小連携会議があり、職員が出席し情報を得ています。 ・園の夏祭り、運動会に近隣の食堂や第三者委員に声をかけています。 ・横浜市磯子区こども家庭支援課や横浜市南部地域療育センター移動相談所と連携をとっています。 ・園のパンフレットや設置法人のホームページで情報を提供しています。 ・ボランティア受け入れマニュアルがあります。 ・実習生受け入れマニュアルがあり、平成27年9月に実習生1名を受け入れています。
5.運営上の透明性の確保と継続性	・設置法人の就業規則に倫理規程、服務規程を明記し、職員が不正・不適切な行為を行わないよう入社時研修で周知しています。 ・牛乳パック、ペットボトル、段ボールなどの廃材でおもちゃを作成し、子どもたちの製作にも利用しています。 ・電気をこまめに消し、未使用、終業時などは電気製品のコンセントを抜くなど園

	内の節電を行い、節電シートを利用して省エネに努めています。 ・園の重要な意思決定については保護者に説明して継続的に説明しています。 ・設置法人作成の研修計画に主任育成のコースがあり、人材育成が計画的に行われています。 ・事業運営に関する重要な情報は設置法人本部が収集し、園長会議で伝達され全職員で共有しています。 ・「やさしさあふれる かがやくえがお」の園目標のもと、中長期的に園目標を展望する5か年計画と、中期計画を作成しています。
6.職員の資質向上の促進	・職員は年度初めに研修目標を設定して「個人別年間研修計画」を作成し、園長と面談して目標に対する達成度を確認し次期の計画につなげています。 ・設置法人の担当部門が研修ニーズを考慮しながら階層別研修、自由選択研修の計画を作成しています。磯子区の研修案内をしています。 ・職員は年2回自己査定の中で自己評価を行い、毎年受審する福祉サービス第三者評価の評価基準に沿って自己評価を行っています。

施設名:アスク新杉田駅前保育園

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

¥



3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある

評価領域Ⅰ 利用者本人（子ども本人）の尊重

Ⅰ－１ 保育方針の共通理解と保育計画等の作成



・運営理念は「安全・安心を第一に」「お子様にとっていつまでも思い出に残る保育を」「利用者のニーズにあった保育サービスを提供」「職員が楽しく働けること」、基本方針は「子どもの自ら伸びようとする力、後伸びする力、五感で感じる保育の充実を目指す」、園目標は「やさしさあふれる かがやくえがお」であり、子どもを尊重したものになっています。H27年4月スタートに当たり職員が参加して園目標を作りました。職員会議の際に理念・基本方針・園目標を再確認しています。

・保育課程は、年齢ごとの発達過程に応じて、理念・方針・園目標に沿う様に子どもの最善の利益を最優先し、近隣住民との交流、自然との触れ合いを考慮して作成しています。入園時や年度初めの保護者会で保護者に説明しています。

・各クラスの担任が年間指導計画、月間指導計画、週案を作成しています。日常保育では子どもの年齢、発達に応じて分かりやすい言葉で、その日の行動や行事について説明し、その日の子どもの希望があれば指導内容を変更して、子どもの主体性を育てるようにしています。

Ⅰ－２ 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施



・園長、保育士、栄養士が面接し、子どもの遊ぶ様子や保護者とのかかわりを観察するとともに、離乳食やアレルギーなど配慮の必要な事項を把握して面談シートに記入しています。保護者に「お子様の状況について」「入園時児童家庭調査票」「離乳食進行面談表」「食物アレルギー確認」「健康調査票」などを提出してもらい、生育歴や家庭の状況を把握して個別にファイルし、職員が情報を共有しています。

・入園時の説明会で慣らし保育の必要性を保護者に説明し、ほぼ1週間の慣らし保育を行っています。0、1歳児の新入園児に対して、担当者を決めて子どもとの信頼関係を築き、園生活に慣れるまでお気に入りのぬいぐるみなど心理的拠り所とするものを持ち込むことができます。

・0～2歳児は連絡ノートに家庭での様子を記入してもらい、園での活動の様子、食事、午睡、排泄の様子を記載して保護者に伝えています。

・クラスごとに一人一人の子どもの状況を話し合い、年間、月間指導計画、週案を作成し、各指導計画の評価・反省欄に記入して次期計画に反映しています。日々の送迎時、個別面談、保育参観、親子行事、行事後のアンケートを通して保護者の意向を把握し、指導計画に反映しています。

I-3 快適な施設環境の確保



・清掃記録表より共用部分、各クラスの清掃箇所を決めて毎日清掃し、園内は清潔に保たれ、空気清浄機を稼働し、ときどきガラスドアを開けて換気に気を配っています。エアコンと加湿器を置き、快適な室内環境を保ち、午前、午後に室温、湿度を確認し保育日誌に記録しています。各フロアのガラスドアから自然採光を取り入れて明るい雰囲気になっています。音楽や職員の声などが騒音にならないように職員が注意しています。

・0歳児用の沐浴設備があり、お尻かぶれ、汗をかいたとき、体が汚れたときなどに使っています。温水シャワーが乳児用トイレ室、幼児用トイレ室、園庭にあり、プールで遊ぶとき、汗をかいたとき、体が汚れたときなどに使っています。沐浴設備、温水シャワーは衛生マニュアルに沿って使用の都度、清掃しています。

・各保育室内にカーペットや机などを用意し、遊び・製作を中心にした小集団保育が行われています。0歳児室は遊び、食事、午睡の際に、その都度保育室内を片付けて機能を切り替えています。1～4歳児室は食事と午睡の場所を別にしています。異年齢の交流については、朝の会までの早朝、お帰りの会以降の時間帯に1歳児室を1～4歳児の合同保育用に使い、異年齢の子どもたちが日常的に交流しています。

I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



・児童票に、入園後の子どもの発達記録を0～2歳児は毎月、3歳児以上は3か月ごとに記録しています。

・毎月の身体測定結果、年2回の健康診断結果、年1回の歯科健診結果を児童票にファイルしています。子どもの記録内容は事務室の鍵のかかる書庫に保管し必要に応じて職員はいつでも見ることができるようになっています。進級時には児童票を基にして乳児・幼児用の子どもの特徴など配慮すべき事項を次期職員に伝える予定です。

＜コメント・提言＞

・今年度は5歳児は在籍せず、保育所児童保育要録は提出していませんので、B評価となります。

I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



・横浜市南部療育センターとの連携体制があります。今年度は特に配慮を要する子どもはいませんが、設置法人の発達支援チーム職員の巡回時や階層別研修を通じて職員は配慮を要する子どもへの対応方法を学んでいます。園内はバリアフリーでトイレに手すりを設置してあります。

・虐待対応マニュアルがあり、日々子どもの観察を通して異常がないかチェックをし、早期発見に努めています。入社時に研修を受講し、虐待の定義を職員の更衣室に掲示してあります。虐待が疑わしい場合や明白になった場合は設置法人、横浜市磯子区こども家庭支援課、横浜市南部児童相談所に連絡し、相談できるように日ごろから連携を取っています。職員は支援の必要な保護者には送迎時に声をかけ、保護者が相談しやすい環境を作って、虐待予防に努めています。

・入園前の面接時に保護者からアレルギーについて聞き、食物アレルギー疾患のある子どもの保護者と栄養士が面談し、主治医の生活管理指導表を提出してもらい、除去食を提供しています。献立表を事前に配付し保護者に確認してもらっています。提供時はアレルギー児についてはトレーの色を変え、ラップをかけて名前と除去内容を明記し、複数の職員が確認して誤食がないように配慮しています。

・外国籍の子どもなどについては、入園時に保護者から慣習の違いなど配慮すべきことを確認していますが、今年度は特に支障はありません。保護者が日本語を理解できない場合は翻訳アプリを利用したり、理解しやすいように写真や絵を用いて意思疎通を図っています。

I-6 苦情解決体制



・苦情対応マニュアルがあり。苦情・要望の受付担当者は園長、解決責任者は社長とし、第三者委員の氏名・連絡先と共に玄関に掲示して保護者に周知しています。第三者委員を「入園のご案内（重要事項説明書）」に記載しています。意見箱を玄関に設置し、行事後のアンケートや保護者懇談会で保護者の要望を汲み取るように努めています。横浜市福祉調整委員会の連絡先を玄関に掲示しています。

・園単独で解決困難な問題がある場合は磯子区こども家庭支援課、設置法人本部と連携して対応する体制があり、クレーム受理票に記録し原因究明、対応をしています。アンケート、送迎時の会話、保育連絡ノートなどで寄せられた要望や苦情は園長に報告し迅速に対応するとともにミーティングや回覧で全職員に周知しています。

評価領域Ⅱ サービスの実施内容

Ⅱ-1 保育内容[遊び]



・各保育室には子どもの手が届く低い棚におもちゃや絵本を置き、自分で取り出せるようになっています。幼児クラスの絵本は、人気のある絵本や子どもの好きな絵本を自分で取り出しやすい絵本棚に入れています。

・1歳児以上のクラスは、棚などで区切り、食事・遊びと午睡のスペースを分けています。自由遊びでは、カーペットや机を使用して遊びのコーナーを作っています。

・公園でマラソンをしている際に子どもの意見でリレーに発展したり、子どもの好きな絵本を題材にして劇遊びにつなげるなど、子どもの発想や興味を大切にしています。

・散歩先の公園でルールを守って固定遊具で遊んだり、年齢に応じてルールのある遊びを取り入れています。

・年齢ごとに「食農活動計画表」があり、園庭にあるプランターで野菜を栽培し、給食の食材にして食べています。

・園周辺はあまり自然に恵まれた環境ではありませんが、職員は散歩や屋上に行った際に、機会を捉えて、身近な自然に触れたり季節の変化を感じられるよう努めています。

・子どもたちは活動の合間や、着替えのとき、給食を食べた後などに歌を自由にうたったり、手遊びを楽しんでいます。

・子ども同士のけんかは、年齢によって職員が子どもの思いを代弁をしたり仲立ちをし、子どもの話をよく聞いて、子ども一人一人の思いを受け止めるよう努めています。

・「やさしさあふれる かがやくえがお」を園目標に掲げ、職員は一人一人の子どもの話を聞いたり、ちょっとしたしぐさに目を向け、できる限り子どもの思いを受け止め子どもに温かく接するよう努めています。

・天気がよければ毎日園庭遊びや散歩を取り入れ、身体を動かして遊んでいます。園庭や公園でかけっこやリレー、ボール遊びをしたり、屋上までの階段を上り下りするなど年齢や発達に応じて運動能力を高める遊びを取

Ⅱ－１ 保育内容[生活]



- ・年齢ごとに「年間食育計画」があり、園では「楽しく食事ができること」を大切にしています。職員は子ども一人一人の状況や体調に合わせて食事量を調整するなどして、完食できる喜びを味わえるようにしています。
- ・授乳は、一人一人の子どもに合わせて授乳時間を決め、抱っこして与えています。
- ・幼児クラスは月1回クッキング保育を行い、クッキー、豆腐ミートグラタン、焼きそばなどを作っています。子どもたちはクッキングで作りたいものを意見を出し合っています。
- ・2歳児は職員も一緒に食事をしたり、おやつは2～4歳児と一緒に食べる機会を持つなど楽しい食事の雰囲気づくりに配慮しています。
- ・毎月行われる給食会議では、その月の給食、翌月の給食行事、食育などについて話し合い、盛り付けや調理方法を工夫しています。
- ・給食だよりには、園独自の欄に野菜ラーメンなど保育園の人気メニューのレシピを掲載しています。
- ・保育参観の際に希望する保護者に給食の試食をしてもらい、園の給食や職員の子どもへの対応や声かけの様子を見てもらっています。慣らし保育の際に、保護者に離乳食の様子を見てもらい、栄養士は保護者からの相談に応じています。
- ・午睡時には0歳児は5分おき、1歳児は10分おきに呼吸チェックをして記録し、うつぶせ寝をさせないように注意しています。
- ・トイレトレーニングは、園での排泄状況を伝え、保護者と連携を図りながら、子ども一人一人のペースで無理なくすすめています。職員はミーティングで「〇〇ちゃん、布パンツに移行」など子ども一人一人の排泄状況を共有しています。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 理[健康管理]



- ・登園時は子ども一人一人をよく観察し、保護者には前日の降園後の様子や体調、夜の子どもの様子などを含め、子どもの健康状態を丁寧に聞いて、「担任伝言表」に記録しています。ミーティングで、子どもの小さな健康状態の変化についても共有しています。
- ・既往症、予防接種歴、アレルギーの有無などの健康状態を把握し、職員会議で子ども一人一人の健康状況を共有しています。
- ・歯磨きは1歳児から行い、2歳児まで仕上げ磨きをしています。歯磨きは全クラス座って行っています。
- ・健康診断の結果は文書により保護者に伝え、医師から所見のある場合には、担任から口頭で保護者に伝えています。
- ・「感染症・食中毒対応マニュアル」には登園停止基準、感染経路、感染症対策、感染症対応方法などを明記しています。保護者に配付する「入園のご案内（重要事項説明書）」には、登園許可書が必要な感染症、登園許可書が不要な感染症を明記しています。
- ・玄関エントランスのホワイトボードに、写真や図入りで分かりやすく説明した感染症予防に対する文書を複数掲示しています。
- ・感染症が一人でも発生した場合には、速やかに玄関エントランスに感染症情報を掲示し、感染拡大を防ぐよう呼びかけています。
- ・感染症の最新情報は、感染症サーベイランスシステムや、磯子区福祉保健センターからのファックス、園児のきょうだいや非常職員の子どもが通っている小学校などの情報により得ています。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]



・設置法人作成の「衛生マニュアル」があり、設置法人で定期的に見直しをしています。マニュアルの改定があった場合にはミーティングで周知を図っています。

・マニュアルの研修は入社時に行っています。採用後は全職員参加による実践的な研修を行っています。

・清掃は、清掃マニュアルに基づき、職員が給食の後や汚れに気づいたときに清掃を行い、清掃後は「保育室清掃記録表」に記録しています。0、1歳児が使用したおもちゃは毎日消毒しています。

<工夫している事項>

・非常勤職員も含め全職員が参加し、園内で嘔吐処理の方法について実技研修を行っています。栄養士の協力を得て研修の準備をし、他職員の見ている前で実践し、全職員で気づいたことを指摘し合っています。

Ⅱ－２ 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]



・設置法人作成の「事故防止・対応マニュアル」があり、見直しがあったときはミーティングで周知を図っており、特に重要な改正があった際は、非常勤職員も参加しています。

・地震転倒対策として、各保育室の棚の下にストッパーを差し込んだり、ローカーの上に滑り止めシートを敷いたり、空気清浄機に鎖をつけて固定するなどの転倒防止策を実施しています。

・「消防訓練実施計画」を基に、火災・地震・津波を想定し、想定場所や想定時間を変えて、毎月避難訓練・消火訓練・通報訓練を実施しています。津波の訓練に備えて、日頃から屋上にも階段で上がっています。

・子ども一人一人の家族の写真入りの「緊急時引き渡し票」を難燃性の非常時持ち出し袋に入れて事務室に整備しています。

・小さなケガであっても、「担任伝言表」にケガの状況を記録し保護者に伝えるよう努めています。

・職員は社内研修で心肺蘇生法（CPR）を学び、日本赤十字社の幼児安全法支援員養成研修を受講しています。幼児安全法支援員養成研修を受講している非常勤職員もいます。

・1階玄関は電子錠で、モニターで保護者や来園者の顔を確認してから解錠しています。園舎のある2階玄関からは保護者はICカードを使用して解錠しています。

・不審者侵入の訓練は園で年2回、想定を変えて実施しています。また磯子警察署の指導・協力を得て、磯子区の不審者初動訓練を磯子区内の保育園の職員と一緒に実施しています。

<工夫している事項>

・プール活動や水遊びの際のデイリープログラムも作成

Ⅱ－３ 人権の尊重



・園長研修で「人権について」をテーマにした研修があり、園長はミーティングで否定的な言葉かけでなく肯定的な言葉を使うことや、子どもの気持ちに寄り添うことなどを伝えています。また、「虐待チェックリスト」を基に、子どもへの対応や言葉遣いなどについて職員間で話し合っています。

・職員はせかしたりせずに子どもの頑張りをほめ、子どもの年齢や子どもの発達に応じてわかりやすい言葉でおだやかに話をするよう努めています。

・子どもが1人で落ち着きたいときは、保育室内の小さな空間や空いている保育室などで過ごしています。必要に応じて、面談室や事務所内の医務室などで1対1で過ごすことができます。

・守秘義務の意義や目的は入社時の研修で全職員に周知を図り、職員は誓約書を提出しています。

・設置法人作成の「個人情報取り扱いについて」があり、入社時に周知を図り、採用後はミーティングで個人情報に関わる書類の取り扱いについて定期的に確認をしています。

・入園時に保護者に個人情報保護や写真等の取扱いにおけるプライバシー保護について説明し、説明を受けた旨の確認書を園に提出してもらっています。ホームページへの子どもの写真掲載について承諾書を提出してもらっています。

・個人情報に関わる書類はすべて事務室内書庫に施錠保管しています。

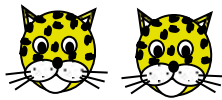
・園で使用する持ち物は男女共通で、遊びや生活発表会などの行事でも性別による差別はしていません。ミーティングで無意識に性差による固定観念で保育していないかを話し合っています。

Ⅱ－４ 保護者との交流・連携



- ・玄関エントランスには設置法人の運営理念、基本方針、園目標を掲示しています。保護者には、4月の保護者会で保育方針について説明しています。
 - ・主な行事後にアンケートを実施し、保護者が保育方針を理解し、「子どもがいろいろな行事を経験することで自信と満足感を得る」ことの大切さに気づいているかどうかを把握しています。
 - ・0～2歳児は連絡帳で毎日個々の子どもの様子を伝えています。幼児クラスはクラスノートや口頭によりその日の保育の様子を伝えています。
 - ・全クラスに「担任伝言表」があり、子どものケガなどを記載し、担任以外の職員から保護者に伝えられる仕組みがあります。
 - ・個別面談は年2回、期間を設けて保護者の都合に合わせて行っています。面談後は「個別面談記録」に記録しています。保護者との相談は保護者から希望があれば随時行っています。
 - ・クラス懇談会を年2回行い、担任より1年間の保育の計画、保育方針、クラスの様子などを伝えています。
 - ・年2回「保育参観・参加週間」を1週間設けて、保護者に都合のよい日を選んでもらっています。子どもの様子をそっと観察してもらったあと、保育に入ってもらい子どもと一緒に遊ぶなどしています。
 - ・保護者有志は運動会の準備や用具の出し入れなどで協力しており、職員と保護者は常にコミュニケーションを取っています。
- <コメント・提言>
- ・今後は保護者が少しずつ自主的に活動できるよう園として支援することが期待されます。

Ⅲ－１ 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供



・一時保育を行ったり商業施設の方たちと交流を図りたいという構想はあるものの、園に対する要望を把握するための具体策を講じるのは今後の課題になっています。

・開設1年目で園として地固めの時期であり、現在はまだ地域に向けたサービスは行っていないですが、28年度より育児相談を行う予定です。

・園長が磯子区認可保育園園長会に、また、4歳児担任職員が幼保小連携会議に参加して地域子育て支援ニーズを把握するよう努めています。

・近隣にはマンションが増え、未就園児を持つ家庭の子育て支援の必要性を認識し、ミーティングで地域子育て支援ニーズについてのテーマを挙げて職員間で話し合っています。

・一時保育や気軽に利用できる育児相談を実施したいという意向はあり、地域子育て支援ニーズに応ずる姿勢はあるものの、地域住民を対象とした子育てに関する講習などはまだ行われていません。

＜コメント・提言＞

・地域住民を夏祭りに招待していますが、まだ参加はありません。園情報の提供方法をより工夫し、地域住民と交流する機会をもてることを期待します。

・地域の子育て支援ニーズをよく把握したうえで、園として何ができるかを検討し、専門性を活かしたサービスの提供を期待します。

Ⅲ－２ 保育園の専門性を活かした相談機能



・磯子区役所に園のパンフレットを置いたり、夏祭りに近隣の方を招待するなどしています。「まみたん園ナビ」（子育て支援ママのための地域情報誌）への登録を設置法人の管理課で行うよう準備をすすめています。

・育児相談は28年度より毎週水曜日に行うように、準備をすすめています。

・夏祭りに近隣の方を招待するなど園からお知らせをしていますが、まだ行事には地域の方は参加していません。

・磯子消防署、磯子警察署、磯子区役所、磯子区こども家庭支援課、児童相談所などをリスト化した「連絡先」を事務室に掲示しています。

・磯子区福祉保健センター、磯子区子ども家庭支援課、横浜市地域療育センター、児童相談所などと必要に応じて連携を図っています。

＜コメント・提言＞

・地域の実情をよく把握したうえで、育児相談の実施を行うことを期待します。

Ⅳ－１ 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ



・今年度は5歳児の在籍がありませんが幼保小連携会議に出席しており、来年度の5歳児在籍に備えて小学校との連携を図る体制を整えています。磯子区主催の不審者対応訓練の講習会場として保育室や放送設備を提供しました。3、4歳児が近隣の高齢者施設を訪問して歌や手遊びをして楽しみ、また、夏祭や運動会のときに近隣の方々に声をかけ、運動会は杉田小学校の体育館を利用しました。地域の団体や機関との交流は今後の課題としています。

・散歩時には新杉田公園、杉田臨海緑地などを利用し、4歳児は海洋研究開発機構横浜研究所に行き宇宙について知る機会を得ています。散歩時には地域の住民と挨拶を交わし、近隣のデイサービス施設を訪問して歌を歌い手遊びをして遊ぶなど地域住民との交流をしています。杉田小学校で10月に開催された移動動物園に3、4歳児が参加して楽しみました。磯子区役所管轄の保育所紹介のチラシや小学校学童の祭りのポスターを玄関ホールに掲示するなど、保護者に案内をしています。

<コメント・提言>

・今後、地域の団体との交流として、町内会に重点を置くことが期待されます。

Ⅳ－２ サービス内容等に関する情報提供



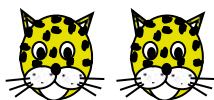
・園のパンフレットや設置法人のホームページで情報を提供しています。

・入園希望の見学者には、パンフレット、「入園のご案内」に基づいて、園の基本方針や利用条件、サービス内容、料金、延長料金、夕食・主食代について、園長が詳しく説明しています。問い合わせがあったときには、見学ができることを伝えています。見学は平日や土曜日に対応しています。平日の場合は、なるべく園児が落ち着いて遊んでいる午前中の10時頃から10時半頃に見てもらうように勧めています。見学後はアンケート用紙に記入し、提出してもらっています。

<コメント・提言>

・外部の情報媒体として、地域情報誌等に園の基本情報を掲載することが期待されます。

Ⅳ－３ 実習・ボランティアの受け入れ



・ボランティア受け入れマニュアルが整備され、説明用として保育園の基本方針・サービス内容などについてはパンフレット、「入園のご案内」などの資料を準備しています。今年度はボランティアの受け入れはありませんでした。

・実習生受け入れマニュアルが整備されています。受け入れ担当者は園長であり、受け入れに当たって、ミーティングで職員に、掲示で保護者に実習生受け入れの目的・方針・予定を説明しています。実習生に対しても十分説明し、守秘義務の誓約書を提出してもらっています。平成27年9月7日～18日、蒲田保育専門学校門校の実習生1名を受け入れています。実習内容、学校が求めている内容を勘案して、部分実習・一日責任実習（実習期間の後半）のプログラムを組み、効果的な実習が行われるようにしています。実習後は実習生と担当職員・園長がお互いに話し合いの機会を設け、反省を踏まえて次の実習に活かされるようにし、意見交換を行っています。

<コメント・提言>

・今後、ボランティアの受け入れを推進することが期待されます。

評価領域Ⅴ 人材育成・援助技術の向上

Ⅴ－１ 職員の人材育成



・園長は園全体のバランスを考慮し、職能や経験年数に応じて人員配置を行い、欠員が生じた場合は設置法人に人材の補充を依頼しています。

・設置法人作成の「保育士人材育成ビジョン」に基づき、階層別研修を企画実施しています。職員は年度初めに成長目標、研修目標を設定して「個人別年間研修計画」を作成し、半年ごとに振り返り、園長と面談して目標に対する達成度を確認し次期の計画につなげています。

・設置法人の担当部門が研修ニーズを考慮しながら階層別研修、自由選択研修の計画を作成し、常勤職員に対して階層別研修が定期的に行われ、また、自由選択研修が常勤職員、非常勤職員に用意されています。2月に園内研修として「おう吐処理」をテーマに常勤・非常勤職員が参加しました。園では磯子区の研修案内もしています。

・職員は研修計画をもとに研修を受講し、内容の見直しを半年ごとに行い、園長との面談のもとに成長目標や研修目標に対して軌道修正を行っています。研修で学んだことは園に報告書を出すとともにミーティングで発表し保育に活かしています。

・非常勤職員にも保育業務マニュアルを適用しています。園長・主任が実務を通じて非常勤職員を指導・助言をしています。非常勤職員は会議議事録、研修などの資料を回覧で読み、園の運営を理解し、自身の資質向上に役立てています。

V-2 職員の技術の向上



・職員は年2回自己査定の中で自己評価を行い、園としては毎年受審する福祉サービス第三者評価の評価基準に沿って自己評価を行っています。園長会議で得た他園の事故事例をもとに園内ミーティングで話し合い、園の対応を決めて運営に反映しています。設置法人の発達支援担当職員や磯子区こども家庭支援課から助言・指導を受ける体制があります。

・年間指導計画、月間指導計画、週案、保育日誌は定型化され、振り返りや評価・反省の欄が設けられ、指導計画のねらいに対して、指導結果についての評価・反省欄を設け、振り返りを行っています。職員はきめ細かく子どもを観察しており、評価・反省の欄に子どもの心の育ち、意欲、取り組みの過程について記入しており、実践結果についてクラスで話し合い次期の計画に反映させています。

・園としての自己評価が未作成で、そのため課題抽出及び公表ができていません。

＜コメント・提言＞

・園の自己評価は、職員の振り返りや第三者評価結果などを基に、園としての課題を明確にし、今後の取り組みについて園内掲示や園だよりに掲載するなど工夫して公表することが期待されます。

V-3 職員のモチベーションの維持



・設置法人作成の「保育士人材育成ビジョン」があり、経験別に必要な知識・技術・組織などについて明文化されています。

・園長は可能な限り現場職員に権限を委譲し、緊急時、園長不在時には担当職員の判断に任せて、事後園長に報告する体制になっています。

・日常の保育現場やミーティングで職員から様々な意見を聞き新設園としての運営に活かしています。例：行事の計画、職員の役割分担、遊具の拡充、製作プログラムの内容、散歩先の開発、園庭の活用方法など。

・園長は年2～3回の面談以外にも随時必要に応じて職員と個別に面談し、職員の意見、要望を聞いています。

評価領域VI 経営管理

VI-1 経営における社会的責任



- ・設置法人の就業規則に倫理規程、服務規程を明記し、職員は入社時研修で周知しています。また、コンプライアンス委員会があり、不正があった場合の連絡先を職員更衣室に掲示してあります。
- ・設置法人のホームページに経営・運営状況を公開しています。
- ・設置法人の園長会で、他園の不適切な事例などを検討し、園に持ち帰ってミーティングで話し合い、不適切な行為を行わないよう職員の意識を高めています。外部講師によるコンプライアンスに関する研修を全常勤職員対象にH28年1～3月に行いました。
- ・牛乳パック、ペットボトル、段ボールなどの廃材を、子どもたちの作成材料に利用しています。ごみの廃棄区分を行ない、また、電気をこまめに消すなど園内の節電を行っています。省資源、節電・節水など省エネルギーに園が取り組んでいる旨を玄関ホールに掲示し、保護者とともに取り組んでいます。

VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等



- ・理念・方針・園目標について、入社時研修や年度初めのミーティングで職員に周知しています。また、同内容を記載したクレドを職員に配付し、かつ、玄関に掲示しています。指導計画を立案する際に園目標に沿っているかを園長は確認し、また、年度途中で、園目標の理解が出来ているかを確認しています。
- ・職員の異動や体制、生活発表会の場所など園の重要な意思決定について保護者と意見交換し、経過や結果について説明しています。
- ・給食会議は栄養士と園長・保育士をメンバーとし、夏祭り、運動会、生活発表会など園の大きな行事の際には全職員で取り組んでいます。
- ・設置法人作成の研修計画に階層別研修の中に主任育成のコースがあり、人材育成が計画的に行われています。主任はクラスを見回り個々の職員の業務状況を把握してシフト表を立案作成し、個々の職員の様子を見て指導計画作成時の指導、助言をしています。また、主任はクラスの様子を察知して、職員の悩みや健康状態に配慮しています。

VI-3 効率的な運営



- ・事業運営に関する重要な情報は設置法人本部が収集し、園長会議で伝達され、園の職員会議等で全職員で伝達されています。
- ・夏場のプールでの監視体制など、園運営上の重要事項はミーティングで共有し、新園運営に必要な環境整備と職員の資質向上に取り組んでいます。
- ・「やさしさあふれるかがやくえがお」の園目標のもと、中長期的に園目標を展望する5か年計画目標と、中期計画を作成し、H27年度は「保護者支援」「地域との交流」「保育内容の確立」「子どもの健康と人間形成」を設定しています。
- ・設置法人は将来を見据えた新たな運営やサービスプロセスについて常に検討しており、人材育成計画を作成し、階層別研修や主任研修を計画的に実施して人材の育成を図っています。
- ・設置法人は運営について業界関連機関や専門家などから意見を収集し運営に活かしています。外部講師からリスクマネジメントや衛生管理、メンタルヘルスについて研修を受けています。

利用者家族アンケート

施設名：アスク新杉田駅前保育園

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

結果の特徴

◇ 調査対象

調査時点での在園児数38名、全保護者34家族を対象とし、回答は家族から31通あり、回収率は91%でした。

◇ 調査方法

評価機関で準備した「家族アンケート用紙」と返信用封筒を、保育園から保護者に直接渡し、約2週間後までに密封して匿名で保育園で用意した回収箱に入れてもらい、密封のままの状態の評価機関が回収しました。

◇ 総合満足度

施設に対する総合評価は、「満足」52%、「どちらかといえば満足」29%で、総合満足度は81%でした。

◇ 比較的満足度の高い項目

- 1) 問5 施設設備について 「満足」が68%、「どちらかといえば満足」が32%で、総合満足度は100%でした。
- 2) 問5 外部からの不審者を防ぐ対策について 「満足」が71%、「どちらかといえば満足」が29%で、総合満足度は100%でした。
- 3) 問1 お子さんの様子や成育歴などを聞く対応 「満足」が65%、「どちらかといえば満足」が32%で、総合満足度は97%でした。
- 4) 問7 あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるか 「満足」が65%、「どちらかといえば満足」が32%で、総合満足度は97%でした。

項目別では

- 1) 問5 保育園の快適さや安全対策について の平均総合評価は94.5%でした。
- 2) 問4 生活について(おむつはずし項目は除く)の平均総合評価は92.1%でした。

◇ 比較的満足度の低い項目

- 1) 問3 年間の保育や行事についての説明 「満足」が51%、「どちらかといえば満足」が26%で、総合満足度は77%でした。
- 2) 問3 年間の保育や行事に、保護者の要望は行かされているか 「満足」が42%、「どちらかといえば満足」が35%で、総合満足度は77%でした。
- 3) 問4 子どもが戸外遊びを十分しているか 「満足」が55%、「どちらかといえば満足」が26%で、総合満足度は81%でした。
- 4) 問4 自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動 「満足」が52%、「どちらかといえば満足」が30%で、総合満足度は82%でした。

調査結果

■園の基本理念や基本方針について

施設の基本理念や基本方針の認知	よく知っている	まあ知っている	どちらともいえない	あまり知らない	まったく知らない	無回答
	20%	35%	16%	23%	3%	3%

↓ 問1で「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した方のうち

付問1

理念や方針への賛同	賛同できる	まあ賛同できる	どちらともいえない	あまり賛同できない	賛同できない	無回答
	82%	12%	6%	0%	0%	0%

■施設のサービス内容について

問2 入園した時の状況

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
見学の受け入れについては	48%	26%	0%	0%	23%	3%
	その他:					
入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	48%	19%	20%	0%	10%	3%
	その他:					
園の目標や方針についての説明には	42%	39%	3%	0%	13%	3%
	その他:					
お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には	65%	32%	3%	0%	0%	0%
	その他:					
保育園での1日の過ごし方についての説明には	55%	35%	7%	0%	3%	0%
	その他:					
入園後に食い違いがなかったかなども含め、費用やきまりに関する説明については	61%	22%	17%	0%	0%	0%
	その他:					

問3 保育園に関する年間の計画について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
年間の保育や行事についての説明には	51%	26%	13%	3%	7%	0%
	その他:					
年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては	42%	35%	10%	3%	7%	3%
	その他:					

問4 日常の保育内容について

遊びについて

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)	58%	36%	3%	3%	0%	0%
	その他:					
子どもが戸外遊びを十分しているかについては	55%	26%	16%	3%	0%	0%
	その他:					
園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど)	55%	39%	3%	0%	3%	0%
	その他:					
自然に触れたり地域に関わるなどの、園外活動については	52%	30%	6%	6%	6%	0%
	その他:					
遊びを通じて友だちや保育者との関わりが十分もてているかについては	48%	42%	7%	3%	0%	0%
	その他:					
遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては	42%	45%	6%	7%	0%	0%
	その他:					

生活について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
給食の献立内容については	84%	10%	3%	0%	3%	0%
	その他:					
お子さんが給食を楽しんでいるかについては	74%	19%	3%	4%	0%	0%
	その他:					
基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては	52%	42%	3%	3%	0%	0%
	その他:					
昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては	52%	42%	0%	0%	6%	0%
	その他:					
おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては	52%	26%	0%	0%	13%	9%
	その他: まだ、始めていない。おむつが外れてから入園した。					
お子さんの体調への気配りについては	72%	19%	6%	3%	0%	0%
	その他:					
保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には	68%	19%	7%	3%	3%	0%
	その他:					

問5 保育園の快適さや安全対策について

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
施設設備については	68%	32%	0%	0%	0%	0%
	その他:					
お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については	55%	29%	13%	0%	3%	0%
	その他:					
外部からの不審者侵入を防ぐ対策については	71%	29%	0%	0%	0%	0%
	その他:					
感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については	55%	39%	6%	0%	0%	0%
	その他:					

問6 園と保護者との連携・交流について

	満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他	無回答
保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については	55%	32%	6%	7%	0%	0%
	その他:					
園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については	45%	42%	7%	3%	0%	3%
	その他:					
園の行事の開催日や時間帯への配慮については	55%	39%	6%	0%	0%	0%
	その他:					
送り迎えの際のお子さんの様子に関する情報交換については	52%	32%	13%	3%	0%	0%
	その他:					
お子さんに関する重要な情報の連絡体制については	58%	26%	13%	0%	3%	0%
	その他:					
保護者からの相談事への対応には	58%	32%	7%	0%	3%	0%
	その他:					
開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には	68%	26%	0%	0%	6%	0%
	その他:					

問7 職員の対応について

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他	無回答
あなたのお子さんが大切にされているかについては	65%	29%	6%	0%	0%	0%
あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては	65%	32%	3%	0%	0%	0%
アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については	65%	26%	0%	0%	6%	3%
話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては	68%	23%	6%	0%	3%	0%
意見や要望への対応については	48%	35%	10%	0%	7%	0%

問8 保育園の総合的評価

	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	無回答
総合満足度は	52%	29%	16%	3%	0%

観察方式による利用者本人調査

平成 28 年 3 月 7 日 11 日

事業所名：アスク新杉田駅前保育園

【0 歳児】

＜製作＞

「グシュグシュしよう」と職員に声をかけられ、子どもは両手で花紙をにぎってまわっています。その次は花紙を職員と一緒にちぎっています。色画用紙に両面テープが付けてあり、「ぺったん、ぺったんしよう」と言われながら子どもたちはちぎった花紙を職員と一緒に貼っています。「〇〇ちゃん上手にできたね」とほめられ嬉しそうです。一人の子どもがちょっと嫌そうな顔をしており、「(テープの糊が) ベタベタするの嫌なの？」と職員に声をかけられています。職員は一人ずつの製作の様子を写真に撮りました。

＜自由遊び＞

職員に段ボール、積み木、ブロックを出してもらい、子どもたちが遊んでいます。「トンネルしよう」の職員の声を聞いて 2 人同時に入ろうとし、「じゅんばんこね」と声をかけられています。子どもたちは上手に段ボールのトンネルをくぐります。段ボールを電車に見立てて電車ごっこです。職員が「シュッポッポ」と言うと 2 人の子どもがにこにこして電車に乗ります。「踏切です」と声をかけられて子どもたちが真似をし、もう一人の子どもに「バイバイ」とうれしそうに手を振っています。鼻水が出た子どもがいて「〇〇ちゃんおいで、鼻出てるね。お洋服も出てるから直そうね」と声をかけられながら、鼻をかんで衣服を整えてもらっています。

＜食事＞

子どもたちは職員に手を洗ってもらい、ペーパータオルで拭いてもらって椅子にすわり、みんなでアンパンマンの手遊びをします。「いただきます」をして、子どもたちはすぐに食べ始めました。スプーンで食べる子ども、手づかみで食べる子どもなど様々です。どの子どももおいしそうによく食べています。「ブロッコリーどう？」「おいしいね」「上手、すごいじゃん」と職員に声をかけられ、食事を手伝ってらっています。自分でスプーンで味噌汁を飲もうとしている子どもがいます。職員がそっとお椀をささえて子どもが自分で飲めるように、さりげなく援助をしています。食べ終わると職員に手を拭いてもらっています。

＜オムツ替え＞

給食が終ると、子どもたちはパーテーションで囲った中に入り、一人ずつト

イレに行きます。「△△ちゃん、そろそろ出たかな？」と職員が声をかけます。パーテーションの中で職員は着替えをしてもらいながら、手遊びをしています。職員は手遊びの歌を口ずさみながら手早くオムツ替えをしています。子どもは気持ちよくなってさっぱりとした顔をしています。

<午睡>

布団を敷くと、一人ずつ順番に布団に入ります。職員におなかをそっとなでてもらったり、優しくトントンしてもらっています。

【1歳児】

<食事>

「みんな、お手て頂戴」職員の声で子どもたちは順番に両手を差し出し、おしぼりで職員に手を拭いてもらっています。電子ピアノに合わせて給食の歌を全員で歌い、食事が始まりました。「おいしい？」と職員に声をかけられ「おいしい」と子どもたちが答えています。「緑は何だっけ？」「ブロッコリー！」「すごい。〇〇ちゃん、言えるんだー」「□□君、ニンジン食べてるんだ。おりこうさん。」子どもたちはおいしそうにおかずをスプーンですくって食べています。職員は「××ちゃん、おかわりする？」と尋ね、子どもはおかずを指さしてお皿に入れてもらいました。テーブルの端にいた子供が「先生、見て！」と、空になったお皿を見せています。「わー、すごいねー、ピッカピカ！」と職員がニコニコ顔で応じています。

<コーナー遊び>

絵の具遊び、塗り絵、パズルの3つのコーナーを作り、子どもたちは好きな遊びを選びます。塗り絵とパズルに人気が集まります。車や消防車の塗り絵カードが数種類あり、子どもは自由に選んでペンで塗っています。職員は「〇〇ちゃん、こっちにも塗り絵あるからね」と伝えています。パズルは木製で2つ用意されています。子どもたちから「やりたい！」という声が上がります。「△△ちゃんはさっきやったから待っててね」「××ちゃん、終わったら貸してくれる？」と職員に声をかけられ、子どもたちは順番に楽しんでいます。パズルをしている友だちを手伝っている子どももいます。

<排泄・着替え>

「おトイレ行こう」と職員が声をかけ、子どもたちは自分から便器に座ります。「〇〇ちゃん出たね。拭いてください」と声をかけられています。自分でトイレを流す子どももいます。職員は、おしっこが出ない子どもには「出ない？」と優しく声をかけています。子どもが自分で履きやすいように職員がズボンを床に置いています。子どもが自分で足を入れて立ち、できないところを職員が手伝っています。シャツの上のほうについているボタンを一生懸命はずそうと

している子どもがいて、職員は子どもが自分でやろうとしているので見守っていますが、「かたいね」「おっ外れた！」と職員に少し手伝ってもらってできました。

<午睡>

午睡の前にノントンの絵本を読んでもらっています。子どもたちは絵本の主人公に合わせて、「くまちゃんおやすみなさい」「おふろ」などつつぶやきながら、皆じっと見入っています。絵本の読み聞かせが終わり、「みなさん、一緒におやすみなさい」をし、自分で布団に入ります。自分でバスタオルをかけられないので、「(バスタオルを) やって」と職員にいうと、職員は「ゴロンしてからね」と答えています。子どもが横になって待っていると、「お待たせしました」と職員にバスタオルをかけて、トントンしてもらっています。

【2歳児】

<食事>

給食の準備です。「〇〇ちゃん、お手伝いをお願いします」と職員に声をかけられて、一人の子どもがスプーンを配っています。ご飯やおかずが配られました。給食の歌をうたって、みんなで「いただきます」をします。子どもたちはスプーンで上手に食べています。おかずも野菜もいっぱいです。子どもたちは「これなあに？」と聞き、職員が食材の説明をしています。「かぼちゃ、おいしそう」とつぶやく子どもがいます。子どもたちはまわりの子どもたちや職員に次々と話しかけてにぎやかです。職員が子ども一人一人に笑顔で応えています。「えらいね。食べられたね」とほめたり、「顔にスプーンをつけないのよ」と食事のマナーを伝えています。あまり食事がすすまない子どもが「ちょっとだけお手伝いしていいかな」と声をかけられ、手伝ってもらっています。

<排泄・着替え>

給食の後はトイレに行きます。自分でパンツを脱いで便器に座ります。ドアのあるトイレを使う子どももいます。トイレの入り口には紙パンツが用意されています。「〇〇ちゃん、おしっこ出てるね。オムツ替えてくださいね」と声をかけられて、自分で紙パンツをはく子どももいます。パンツ1枚になると、「おに～のパンツはいいパンツ～」と歌っている子どもがいます。職員は「△△ちゃん、パンツとおむつとどっちで寝たい？」と聞き、すかさず「パンツ！」と答えている子どもがいます。トイレが終ると、服を着替え、脱いだ洋服を自分で上手にたたんでいます。職員は「半分にして、また半分にして」と分かりやすく教えています。脱いだ衣服は自分でポリ袋に入れていきます。職員はそつと見守り、できないところを手伝っています。着替えが終った子どもは絵本を

見えています。

<製作>

模造紙を何枚も帯状につなげて部屋いっぱいに広げてあります。子どもたちがその模造紙に自由にクレヨンで絵を描いています。「何ができるのかなあ？何か顔みたいだなあ。」と職員が子どもに聞いています。「先生、できたよー」と一人の子どもが声をあげました。子どもは描いた電車の絵を嬉しそうに眺めています。子どもが緑色のクレヨンで指をなぞりながら手形を描いています。職員が橙色のクレヨンで顔を描き始めました。「あ、ドラエモンだ！」と嬉しそうに声をあげました。その職員の背中に一人、また一人、子どもたちが乗り始めました。「お鼻は何色かなあ。重たいよー。」「先生、足はないの？」「うーん、下にバイキンマンがいるので足をかけないんだよねー。ドラえもんの顔、あと続けてくれる？」前にいた子どもが頷いて目と口を描きたし始めました。

【3、4歳児】

<製作>

3日前に画用紙に墨で縦横に自由に線を描きました。今日は線と線が交わった形のところにクレヨンで色を塗っています。塗る色は隣り合わせが異なる色で塗る約束です。子どもたちは一生懸命で、丁寧に塗っています。「見て～」と職員に声をかけ、「きれいな色でぬれてるね」と応えてもらっています。子ども同士で、「青と黄色、上に黄色やった方がいいよね」と相談している子どもがいます。色を混ぜている子どもがいます。「紫は、赤と青だよ」と興奮気味に話す子どもがいて、「いいね。〇〇ちゃん」と職員にほめてもらっています。別の子どもが「紫、どうやってまぜるんだっけ？」とつぶやき、「青と赤だよ」と教えてあげています。子どもたちは楽しそうに取り組み、できあがった作品を自分で見てうれしそうです。

<食事>

子どもたちは隣の保育室に布団を自分で敷くと、給食の準備です。職員は、アレルギーのある子どもには「食べ終わったお皿は先生が取りにきますから待っててね」と説明しています。当番はトレイとおかず、ごはんを配っています。当番の子どもに「〇〇ちゃん、コップはもう少しやさしく置いてね」と言う子どもがいます。配膳が終ると当番は前に出て、給食のうたを元気に歌い、「いただきます」をします。「先生、減らしてください」の声に、職員は「どれを減らすの？これはいい？」と聞いて苦手なおかずやごはんを減らしています。「おかわりしてね」と職員に声をかけられ、「はい」と子どもたちは応えています。

H27年度第三者評価事業者コメント(アスク新杉田駅前保育園)

【受審の動機】

受審の動機は、第三者の公正で専門的な視点から、運営主体の理念である「利用者に本当に求められているサービスを提供する」ことが確実に利用者に届いているのか、よりよい保育園にするための課題は何かを明確にしたいと考えたためです。

評価機関の選定につきましては、横浜市の系列園と同じ評価機関に依頼することで比較がしやすく、運営方針等も十分にご理解いただいた上で調査を実施していただけたと考えました。

開園一年目ということもあり、模索しながらも職員一同、自分の持っている能力を存分に発揮し常によりよい保育を目指してまいりました。その取り組みがどのように評価されているのか、また職員はどのような思いで日々の保育に臨んでいるのか等、ここで得られた意見を参考にし、より一層のサービスの向上を目指していきたいと思っております。また、評価結果を公表することにより、地域に開かれた保育園として信頼を得ると共に、利用者が自らの判断で保育園を選ぶことができるお手伝いができればと考えております。

【受審した結果】

第三者評価を受審し、職員一人一人が評価項目の振り返りを行うことで、自分の保育と園としての保育の目指す方向性や理念を再確認し、見つめ直すことができました。

良い評価をいただいた点といたしましては、様々な体験を通した豊かな園生活の提供ができていること、また、一人ひとりを観察し指導計画に反映されていることの2点がありました。どちらも保育の内容に関して評価していただき、大変嬉しく思います。今後も引き続きよりよい保育が行えるよう意識して取り組んで参ります。

その一方で、地域の子育て支援について、ニーズの把握やサービスの提供が不十分ということが浮き彫りになりました。開園二年目を迎えるにあたり、地域に必要とされる保育園を目指すべく、地域の子育て支援について着手していきたいと考えております。

本年度は新園ということもあり、職員がまとまりきれておらず、至らない部分も多かったと思いますが、保護者の皆様のご協力もあり、園運営を行うことができました。今後も、保護者との信頼関係を大切にしながら、より積極的にコミュニケーションを取り、家庭と園とで連携し子どもたちの成長を感じていきたいと思っております。

最後に今回の受審にあたって、ご多忙にも関わらずご利用者調査にご協力いただいた在園児の保護者の皆様、ご尽力いただいた評価機関の皆様に心より感謝申し上げます。